



報道関係者各位

2026年6月24日(水)

ークリエイター側から見た生成 AIー  
デジタルハリウッド大学大学院 公開セミナー  
**AI Bricolage Session - Season 2**  
**5th session 「未来と創作の逆理」**



**2026年7月28日(火)19:00～21:00**  
**(参加:有料・要予約/会場:本学駿河台ホール)**

日本初の株式会社による専門職大学院で、[SEAD (Science / Engineering / Art / Design)] 4 要素の融合をコンセプトとして、デジタルコミュニケーションを駆使し、社会に新しい産業や文化を生み出すリーダーを輩出するデジタルハリウッド大学大学院(所在地:東京・御茶ノ水、学長:藤井直敬、以下本大学院)は、「AI Bricolage (ブリコラージュ) Session - Season 2」と題した公開セミナーシリーズを2025年11月より開催しています。

本セミナーシリーズは、全5回のセッション開催を予定しており、本学の福岡俊弘特命教授がモデレーターを務めています。これまでに、1st session「シナリオから映像への共創」、2nd session「創造の再定義とAI」、3rd session「音楽の未来の共鳴」、4th session「生成とドローイングの境界 ー越境は可能か、その未来を問う」を開催し、多くの方にご参加をいただきました。

2026年7月28日(火)の5th sessionでは、メディア美学者の武邑光裕氏をゲストにお迎えし、「未来と創作の逆理」をテーマに開催いたします。

**【開催趣旨】**





生成 AI が日常的な創作ツールとなって久しい。しかしその普及は、「つくること」の意味そのものを揺さぶっている。AI は創作のパートナーか、それとも人間の創造性を静かに解体するエージェントか。Season 2 を締めくくるこの最終章では、テクノロジーとメディアの美学を長年探究してきたメディア美学者・武邑光裕氏をゲストに迎え、「未来と創作の逆理」と題したセッションを行います。生成 AI がもたらす恩恵と試練の両面を直視しながら、持続可能な創作環境をどのように構想しうるか——創作の本質を揺るがすリスク、倫理的ジレンマ、そして不確実性の只中での問いを、プリコラージュ的な対話によって探求します。

## 【5th session 概要】

### 「未来と創作の逆理」

AI は「創る」という行為を民主化する一方で、創作の孤独、偶然性、失敗の意味を剥ぎ取ろうとしているのではないか。技術の加速と創作の本質との間にある逆説を、メディア美学の視座から解体します。長年にわたりデジタル社会とメディアの変容を観察し続けてきた武邑氏が、AI と創造性の関係についての深い問いを提起します。

### ■ゲストプロフィール

#### 武邑光裕氏

メディア美学者。1954 年東京都生まれ。日本大学芸術学部文芸学科卒業、1978 年同大学芸術研究所修了。日本大学芸術学部、京都造形芸術大学、東京大学大学院、札幌市立大学で教授職を歴任。1980 年代よりメディア論を講じ、インターネットや VR の黎明期、現代のソーシャルメディアから AI にいたるまで、デジタル社会環境を研究。2013 年より武邑塾を主宰。2017 年より Center for the Study of Digital Life (NYC) フェローに就任。千葉工業大学「変革」センター主席研究員。著書『記憶のゆくたてーデジタル・アーカイブの文化経済』（東京大学出版会）で第 19 回電気通信普及財団テレコム社会科学賞受賞。近著に『さよなら、インターネット』（ダイヤモンド社）、『ベルリン・都市・未来』（太田出版）、『プライベート・パラドックス』（黒鳥社）、『Outlying 僻遠の文化史』（rn press）。

### ■開催概要

日時：2026 年 7 月 28 日(火) 19:00～21:00

会場：デジタルハリウッド大学 駿河台ホール（東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ アカデミア 3F/JR「御茶ノ水」駅 聖橋口徒歩 1 分・東京メトロ「新御茶ノ水」駅 B2 出口直結）

参加費：2,000 円

定員：100 名

申込：<https://bricolage2-05.peatix.com>

## 【シリーズ開催概要】

イベント名：デジタルハリウッド大学大学院 × AI Bricolage Session - Season 2

～AI をめぐる連続セッション\_駿河台会議 On the Creators' Side～

開催期間：2025 年 11 月～2026 年 7 月（隔月開催・全 5 回）

会場：デジタルハリウッド大学 駿河台ホール

参加費：500 円～2,000 円（回によって異なります）

主催：デジタルハリウッド大学大学院





モデレーター：福岡俊弘（デジタルハリウッド大学大学院 特命教授）

### 【本セッションの特徴】

- ・実践と理論の交差点：現場で実際に AI ツールを取り入れた事例や、その導入によって生じた意図しない影響、または限界について、クリエイター自身の体験や考察を共有します。
- ・多様な視点の融合：異なるジャンルの専門家が集い、AI との共存を前提としつつも、そのメリットだけでなくデメリットや倫理的・実践的な課題にも焦点を当てます。
- ・ブリコラージュ的アプローチ：理論や設計図に基づく「設計」とは対照的に、その場で手に入るものを寄せ集め、試行錯誤しながら新しいものを作る「ブリコラージュ」の考え方を基盤とします。
- ・問いの再考：AI が一方的に創作活動を支援・補完する存在として捉えられる中で、「創造」とは何か、人間が創作する意味やその本質はどこにあるのかという問いを再定義します。

### 【お問い合わせ先】

デジタルハリウッド大学大学院 AI Bricolage Session - Season 2 事務局

メール：daigakuin@dhw.ac.jp

### 【デジタルハリウッド大学大学院について】

<https://gs.dhw.ac.jp/>

日本初の株式会社立の専門職大学院として 2004 年に開学。

2026 年 4 月、二代目学長に藤井直敬が就任。初代学長・杉山知之が示した「すべてをエンタテインメントにせよ」を拡張し、新たな教学ヴィジョンとして「世界を満たせ」を掲げる。

超高度情報化社会においてデジタルコミュニケーションを駆使し、社会に変革を起こすリーダーを輩出すべく、創発的学術領域 SEAD (Science / Engineering / Art / Design) の 4 要素をバランス良く身につけ融合し、理論と実務を架橋する人材育成を行う。新規事業プランニングとプロトタイピングなど、院生のアイデアの実装およびスタートアップ支援により、「令和 7 年度大学発ベンチャー調査」(経済産業省)では全国大学中 17 位、私立大学中 7 位となっており、多数の起業家を輩出している。

本大学院では、本学在籍の院生・修了生の起業・事業支援に注力しております。デジタルコミュニケーション領域での産学協同研究にご興味をお持ちの方、本学への入学を検討されている方、また企業の皆様は下記よりお気軽にお問い合わせください。

### 【デジタルハリウッド大学大学院事務局】

TEL: 0120-019-236 メール：daigakuin@dhw.ac.jp

### 【当プレスリリースに関するお問い合わせ】

デジタルハリウッド株式会社 広報室：川村

mail:press@dhw.co.jp

TEL: 03-5289-9241





# Press Release

## Digital Hollywood



**dhu**  
<https://www.dhw.ac.jp/>

デジタルハリウッド公式サイト: <https://www.dhw.co.jp/>

過去のプレスリリース: <https://www.dhw.co.jp/press-release/>

---



Copyright 2026 Digital Hollywood Co., Ltd. All Rights Reserved.

